

◆熱戦の跡

熱戦の跡



高校野球岡山大会を振り返って

創志 堅い守り原動力

第104回全国高校野球選手権岡山大会は創志学園が3大会ぶり3度目の優勝を果たし、25日開幕した。今春のセンバツに出場した倉敷工大有力校が早々に敗退する波乱があった一方、8強は甲子園経験校が独占。春から公式戦12連勝で頂点に上り詰めた創志学園は攻守に盤石だった。(田井香菜子)

1試合平均1・6失点、1失策だった。の守備力が優勝の原動力。チーム打率は4強トップになった。全5試合に先の3割8分7厘。機打やエラーし、ほぼ一人で投げ抜いた創志学園の主戦岡村均7・6点を奪った。3回は防衛率1・42(投球回数38回)。右投手から投げる140mの直球の球威は衰えず、決勝では31年ぶりとなる完封を倉敷商相手に飾った。二塁岩本、左翼横井らのビッグプレーも飛び出した野手陣は大会を通じてわずか



3大会ぶり3度目の優勝を決め、長沢宏行監督を胴上げする創志学園ナイン。25日、倉敷マスカット

3大会ぶりV エース軸に盤石の戦い

の品田らがけん引。準決勝は2死からバント安打で決勝点を挙げるなど、つがなかった。ともに1年生の右腕和田、左腕増田は今後が楽しみな存在だ。

ベスト4は学芸館と理大付。学芸館は打率4割超の宇地原や藤原が打線を引っ張り、1試合平均8・8得点をたたき出した。理大付は右の田本、左の楠本らによる継投を武器に初戦から3試合連続のゴールド勝ちで7大会ぶりの準決勝に駒を進めた。

8強のうち、山陽は創志学園と見逃えのある打撃戦を演じ、4強に引きを取らない力を見せた。関西はAシードの岡山東商を撃破。準々決勝進出を懸けた3回戦2試合が延長タイブレークに突入し、城東は小刻みな継投でAシードの光南に粘り勝った。玉島商は延長十八回、東岡山工に勝利。岡山大会で十五回を超えているのは41年ぶりだった。好ゲームが期待された準々決勝以降は4試合がゴールド。コロナ禍による実戦不足の影響か、四球や失策絡みの失点が多かった印象だ。

倉敷工大を延長戦で下した岡山工、シード校に大勝した翠松、8年ぶりに夏2勝を挙げた大安寺の戦いぶりも見事だった。春の県大会地区予選から採用された「継続試合」が1回戦2試合で初めて適用された。

“長沢、創志 団結の頂

創志学園	打安点
① 横井	300
② 木村政	321
③ 竹本	420
④ 金田	500
⑤ 上田	310
⑥ 高村	311
⑦ 谷	100
⑧ 小松	200
⑨ 岩本	410
計	2872

倉敷商	打安点
① 藤	400
② 小川	410
③ 藤	400
④ 品田	420
⑤ 池田	300
⑥ 三宅	210
H 佐々	100
⑦ 本	300
⑧ 田	100
H 文	100
H 増	000
H 尾	100
H 長	000
H 谷	000
計	3250

創 28410110
 振球機空大残併
 倉 8200071

【倉敷商】創志学園1死三塁、木村政が右越え二塁打を放ち、1-0とする。投手和田、捕手津本、倉敷マスコット（今中雄樹撮影）

8奪三振で完封、左翼横井、三塁金田らバツクも、投手は粘り強へも失点で抑えたが、自慢の打線が先頭岩本の左翼懸二塁打と犠打で1死三塁とし、木村政が先制の右越え二塁打を放った。5回で二四球で満塁とし、岡村の右前打で加点した。倉敷商は先発和田ら5回も抑えたが、自慢の打線が先頭岩本の左翼懸二塁打と犠打で1死三塁とし、木村政が先制の右越え二塁打を放った。5回で二四球で満塁とし、岡村の右前打で加点した。

倉敷商は先発和田ら5回も抑えたが、自慢の打線が先頭岩本の左翼懸二塁打と犠打で1死三塁とし、木村政が先制の右越え二塁打を放った。5回で二四球で満塁とし、岡村の右前打で加点した。

（田井香菜）



「諦めない」最後まで体現

2点を追う九回1死無走者。「下級生が必死に投げていた。3年生の意地を見せる」と1ボールからの2球目を右前に運び、ベンチに向かって力強く拳を握った。守ってはピンチにも笑顔を抑えささない。二塁の守備位置から何度もマウンドに声を掛け、最後まで遊撃を信じて戦い抜いた。

憧れの聖地に立った昨夏、1回戦で敗れたチームにあって、九回の守りから途中出場すると、その裏に反撃の適時打を放った。「甲子園の偲りは甲子園で返す」。そう誓ったはずが、新チーム移行後は打撃不振に陥る。打席での迷いは得意の守備にも影響し、昨秋の県大会は自らの適時失策もあり、初戦の2回戦で敗退。センバツへの道は早々に断られた。

調子は向上かず、練習試合でのバント失敗を機にBチーム降格を告げられたのは5月。「気持ちが一変した。もう諦めない」。松原悠は、今までの野球人生にもつながら「一つのミスに下を向いていたかつての姿はもうなかった。（松原悠）

倉敷商OBの博之さんは1992年夏の甲子園に出場した世代だが、自身はスタンド応援に回った。控え部員の思いが分かる父だから「その叱咤（しつた）に「あの言葉で目が覚めた」。それから毎日のように志願のノックを受けるなど猛練習を重ね、どん底からはい上がった。

迎えた今大会は攻守に奮迅の働きを見せ、準決勝の学芸館戦では2点を追う八回、起死回生の同点打で遊撃勝利の立役者になった。「諦めない」ことの大切さを改めて学んだ。今後の野球人生にもつながる。一つのミスに下を向いていなかったの姿はもうなかった。（松原悠）

白球譜

倉敷商
 品田 祐希二塁手

方支えてくれるみんなに申し訳ないだろう。そんなプレ一を続けるならやめてしまえ」。父博之さん（48）が消極的な姿勢を厳しくとがめたのは、そんな頃だ。

倉敷商OBの博之さんは1992年夏の甲子園に出場した世代だが、自身はスタンド応援に回った。控え部員の思いが分かる父だから「その叱咤（しつた）に「あの言葉で目が覚めた」。それから毎日のように志願のノックを受けるなど猛練習を重ね、どん底からはい上がった。

迎えた今大会は攻守に奮迅の働きを見せ、準決勝の学芸館戦では2点を追う八回、起死回生の同点打で遊撃勝利の立役者になった。「諦めない」ことの大切さを改めて学んだ。今後の野球人生にもつながる。一つのミスに下を向いていなかったの姿はもうなかった。（松原悠）

◆準決勝

倉敷商 鮮やか逆転

【学芸館 倉敷商】8回裏倉敷商2死三塁、代打小郷が三塁前に勝ち越しのバント安打を決め、一塁を駆け抜ける。倉敷マスカット（今中雄樹撮影）



▽準決勝
学芸館000210000104
倉敷商000110000x5
▽三塁打 勝勢▽二塁打 佐々木、藤森旭、雄龍、品田▽
暴投 岡田真、長谷川

田が右中間へ2点二塁打を放ち追い付くと、暴投で三進後、代打小郷が三塁前に決勝のバント安打を決めた。四回は勝勢旭、五回は雄龍に適時二塁打が出るなど長打力を発揮。2番手の1年生左

これが王者のメンタリテイ。倉敷商は終盤まで先行を許す展開でも勝利を信じて疑わなかった。「最後には勝っていると言いつつ、選手からもぞういう声が出ていた」と梶山監督。就任以来、夏は県内負けなしの指揮官に

8回2死から劣勢はね返す

薄かれ、八回2死からの鮮やかな逆転劇は実現した。学芸館のベンチも、観客席も、意表を突かれたに違いない。同点二塁打の品田が暴投で三塁を陥れた直後だった。代打で左打席に立っていた小郷がバントを寝かせ、三塁線に白球が転がる。悠々セーフのタイミングで一塁ベースを駆け抜けた背番号17は、拳を握って雄たけびを上げた。決勝のバント安打。50分6秒1という俊足も魅力の切り札は、内野が後ろに下がっていた。バントで転がせば1点だと思つてベンチを見たら、監督も同じ考えだった」と胸を張る。

ここの一番での秘策。は人念な準備があつてこそ。昨秋の県大会初戦で延長の末に敗れた学芸館に対し、守備位置や投手のくせを研究していたというから後かきでない。品田の打席では、二塁から重盗が決まり、一打同点のチャンスで打撃好調の5番打者もこの一打に決した。

2020年の代替大会を含む、3連覇を懸けたファイナルの相手は春の中国王者・創志学園。どんな手であと1勝をもぎ取りに行くか。（稲垣心也）

学芸館	打安点
① 森下	310
② 藤原	410
③ 藤原	311
④ 宇地原	431
⑤ 保科	310
⑥ 泉	000
⑦ 中村	310
⑧ 岡田	300
⑨ 岡田	300
⑩ 西上	100
⑪ 白鳥	211
⑫ 清水	100
計	3093

倉敷商	打安点
① 雄龍	311
② 佐々川	410
③ 西川	300
④ 藤森	411
⑤ 品田	422
⑥ 三宅	300
⑦ 小郷	111
R5 藤森	000
⑧ 池上	200
⑨ 津本	410
⑩ 和田	100
⑪ 増田	100
H 岸本	100
H 長谷川	000
計	3175

学5242150
試合観戦券失残併
倉8404181

高校野球岡山大会 来月9日開幕

組み合わせ

光南	13日マ9:00	理大付	14日マ9:00
芳泉	9日マ11:30	瀬戸野	11日エ9:00
和気	17日マ9:00	玉安寺	18日マ9:00
作陽	10日倉9:00	大高	12日マ9:00
城東	13日倉11:45	吉高	15日倉9:00
津山	10日エ9:00	岡山南	12日倉9:00
水島	20日マ9:00	就夫	21日マ9:00
岡山工	10日マ9:00	倉敷南	12日マ11:45
林野	13日エ11:45	玉島商	15日マ9:00
笠岡工	10日マ14:30	日新	12日倉11:45
倉敷山	17日倉9:00	倉敷	18日倉9:00
津東	10日エ11:45	岡山工	11日マ14:30
一宮	13日マ14:30	岡山	14日マ14:30
学芸	23日マ10:00	明誠学院	23日マ11:45
美翠	10日マ11:45	山陽	14日倉11:45
邑松	14日倉9:00	操白	12日エ9:00
御津	10日倉11:45	高付	18日マ14:30
勝山	17日マ14:30	天城	12日エ11:45
倉敷商	11日マ9:00	津山商	15日倉11:45
高梁	14日エ9:00	津山高専	12日マ14:30
総社	11日倉9:00	朝日	21日マ11:45
鷺羽	20日マ11:45	玉野商工	13日エ9:00
関西	11日マ11:45	津山工	15日マ11:45
青陵	14日エ11:45	西大寺	13日倉9:00
興譲	11日倉11:45	金光学園	18日マ11:45
興陽	17日マ11:45	笠岡商	11日エ11:45
古城	9日マ14:15	創志学園	14日マ11:45
岡山東商	13日マ11:45		

【注】太字はシード校。マはマスカット、倉は倉敷市宮、エはエイコンの各球場

大会展望

が高い。主戦の右横手岡村は140近い直球を主体に丁寧にコースを突き、岡大会の計7試合で防割率1・47(打球回55回)。打率5割の主砲金田はチャンスに強く、谷、横井ら好打者がそろそろ。ただ初戦で当たる可能性がある金光学園も個々の能力が高く侮れない。同ゾーンの対抗馬は昨

優勝争いは春の県大会、中国大会を制した創志学園がリードする。夏運転を目指す倉敷商と今春センバツ出場の倉敷工が打力で対抗し、総合力の高い学芸館、春の県大会準優勝の理大付などが追う。組み合わせはノーシードの有力校を含め上位候補が散らばった。創志学園は投打にレベル

創志 V 争いリード

倉敷商、倉敷工 打力で勝負

い。同じゾーンには実力校がひしめく。岡山東商は小島、光森ら旧チームからの主力を軸に上位下位ともよく振れている。関西、興譲館はともに多彩な投手がそろい、昨年に続き2回戦での激突が濃厚。右の本格派竹内を擁す美作と、畠木ら中軸に爆発力がある。部員不足による初の合

ら投手陣の安定感が増した。順当にいけば倉敷工・学芸館の3回戦屈指の好カードが実現しそう。光南は失点が計算できる佐藤編ら投手陣を柱に堅守からリズムをつくる。昨夏8強の城東は横野、作陽は木村の両エースの出来が勝敗を左右する。

理大付も明誠学院のゾーンは理大付が頭一つ抜ける。左

せない。倉敷は上位打線に爆発力があり、東岡山工は投打にバランスが良い。今大会は3年ぶりに1回戦から有観客で行われ、プラスバンドも解禁される。新型コロナウイルス禍と同様に、スタンドからの熱い応援を受け、好ゲームが繰り広げられることを期待したい。(田井香葉子)

夏準優勝の山陽。伊藤水、徳永、田内らが並ぶ打線は昨年以上に強力な布陣だ。天城はクレバーな投球が魅力の左腕松家、玉野商工は右の技巧派金川を軸にまとまる。

昨夏の甲子園経験者が多く、倉敷商は打線に破壊力があり、ミート力に優れた雄飛、学芸館は俊足の森下、勝葉や宇地原が並ぶ打線に切れ目がなく、制球の良い左腕岡田景

同チーム御津・緑陽は戦いぶりが注目される。光南・学芸館のゾーンは、岡校と倉敷工の3校が軸となる。倉敷工はパンチ力のある藤井、福島のが得点源となり、直曲球に切れのある主戦高山に続き右横手片山らが成長。三谷の右の2枚看板を中心、再現を狙う誠実や、村上、初めて4強入りした昨夏の再現を狙う誠実や、村上、三谷の右の2枚看板を中心、接戦に強い玉島商などのタークホースからも目が離